

取組実績の概要（2 ページ以内）

本AP事業の狙いは、全学部・全学科における入学から卒業までのアクティブ・ラーニングの実践と、学生一人一人の学修成果の可視化を行うことである。この両者は同時並行的に運用することで、受動的な学修から、学生個々人の気付きからうまれる能動的な学修へ転換する効果が高いといえる。特に、学生それぞれが学修の過程で振り返りを行う機会を設けることがアクティブ・ラーニングの実質化につながると考えており、そのために学生が何を、いつ、どのように改善・学修すべきか、具体的な情報を得る仕組みが学修成果に必要なと認識している。

この学修の振り返りは、少なくとも学期ごとに学生個々人が行い、その学修内容・状況として「学力」「人間力」のそれぞれの強み・弱みを認識すると共に、学生自身が学修課程のどの位置にあるのかを認識することも次への学修につながると考えている。

■アクティブ・ラーニング (AL)

本学では、カリキュラムの支柱として、解が多様に存在する問題に対してチームで課題の明確化・解決策の創出・実行・検証を行う理工系PBL科目群「プロジェクトデザイン教育」を必修6科目17単位から構成している。この教育を中心に教養科目・専門基礎科目・専門科目を配当している。また、学生の興味・関心から学生自らが主体的に取り組むプログラムを正課外に多数準備し、これら全てを有機的に接続することで、実質的なアクティブ・ラーニングが可能との考えから、今般の「e-シラバス」の開発・構築・運用に至っている。

これを通して、「プロジェクトデザイン教育」の充実をはじめ、各授業科目の接続や正課と正課外の接続が可能となり、また予習・復習のための教材提供等の取組も可能となった。これにより、教員と学生の双方向授業や反転授業の実施等が実現でき、現在は授業に社会人が参画する社会人共学者制度においてもこのe-シラバスが有効に機能している。

■学修成果の可視化

学生の正課教育での成長や、正課外教育での取組を蓄積し、学修成果を可視化するための「自己成長シート」を導入した。また、e-シラバスを既存の各種ポートフォリオシステムと紐づけることで学生の学修成果を蓄積し、学生が自身の成長を認識し、学びの意欲向上につながる仕組みを構築した。今後も自己成長シートやe-シラバスの検証を行い、より学修効果の高いカリキュラム、授業時間割、授業運営を検討し、質の高い教育システムへと改善を図る。

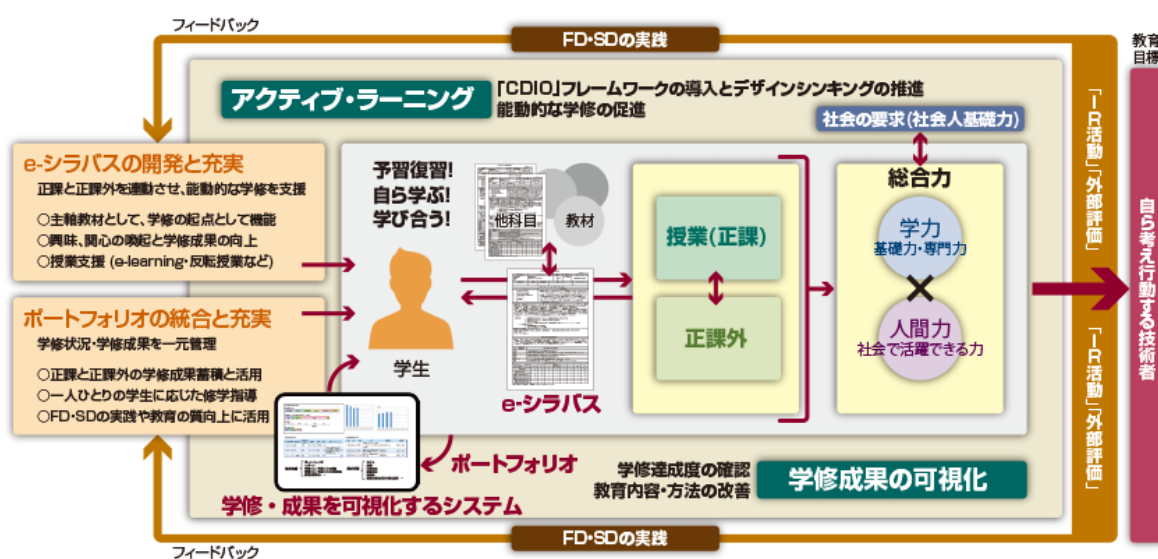


図1 統合型アクティブ・ラーニング・システム

### ■高大接続による継続的な質保証の伴った学力測定

平成 28 年度より検討を進めてきた PBL における学修成果の評価法として、ルーブリックの開発と試行を高校と本学で実施した。連携する PBL 実施高校とルーブリック導入に向けた意見交換を行い、取組の改善を図った。今後も PBL と評価に関する研修会を行うと同時に、PBL 実施高校から大学へ進学した学生の成長の検証を行い、更に充実した PBL 教材の開発を目指す。また、PBL を新たに取り入れたい高校の円滑な導入を継続的に支援する。

#### 【必須指標の達成度】

テーマにおける必須指標	平成 26 年度 (起点)	令和元年度		
		目標	実績	
アクティブ・ラーニングを導入した授業科目数の割合	100%	100%	100%	
アクティブ・ラーニング科目のうち、必修科目数の割合	51.6%	56.4%	48.7%	
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	99.3%	100%	99.3%	
学生 1 人当たりアクティブ・ラーニング科目受講数	11 科目	11 科目	11 科目	
アクティブ・ラーニングを行う専任教員数 (授業を担当する全教員)	87.5%	93.2%	84.4%	
学生 1 人当たりのアクティブ・ラーニング科目に関する授業外学修時間 (1 週間当たり)	14.2 時間	18 時間	26.2 時間	
退学率	3.7%	3.1%	3.7%	
プレースメントテストの実施率	100%	100%	100%	
授業満足度アンケートを実施している学生の割合	100%	100%	100%	
上記アンケートにおける授業満足率	80.5%	85.5%	85.7%	
学修行動調査の実施率	1 年生	97.4%	98%	94.1%
	2 年生	15.4%	55%	15.5%
	3 年生	5.8%	55%	7.3%
	4 年生	1.5%	35%	0.6%
	全体	30.1%	-	31.1%
学修到達度調査の実施率	1 年生	81.3%	96.5%	82.7%
	2 年生	79.2%	85.5%	56.1%
	3 年生	70.5%	85.5%	50.3%
	全体	59.7%	-	63.5%
学生の授業外学修時間	14.2 時間	19 時間	26.2 時間	
学生の主な就職先への調査	実施	実施	実施	